

活動報告 交流の成果を報告

北秋田市・国立市なかま交流プロジェクト報告会

北秋田市・国立市なかま交流プロジェクトに参加した「チームつながり」の皆さんが、8月3日に市役所を訪れ、津谷市長に国立市のイベントでの活動の成果や交流した感想などを報告しました。

同プロジェクトは、文化交流、障がい者交流を目的に実施したもので、東京都国立市が合川地区の伝統行事「まと火」を実演するイベント「国立まと火」に北秋田市民が応援参加しています。

報告を受けた津谷市長は「今後も両市の交流・発展に協力してもらいたい」などと述べました。



地域行事 地域総参加で盛り上げる

第32回森吉山麓たなばた火まつり

第32回森吉山麓たなばた火まつりが、8月7日に阿仁前田河川公園で行われ、会場には大勢の見物客が詰め掛け、郷土芸能やダンス、絵灯笼、花火など多彩なイベントを楽しみました。

イベントは2部構成で、第1部「たなばたまつり」では、地元の人々が踊りや伝統芸能などを披露し、日が沈んでからは、絵灯笼の行列が会場内を練り歩きました。第2部「たなばた火まつり」では火文字のもととなる盆木に火が灯されたあと、割物やスターメインなどの花火が真っ暗な夜空を彩りました。



地域行事 踊りの輪を広げゆく夏楽しむ

第62回北秋田市民盆踊り大会

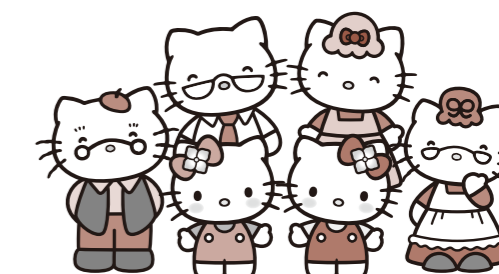
北秋田市観光物産協会（檜森正太会長）主催の第62回北秋田市民盆踊り大会が、8月15日に市民ふれあいプラザで行われ、多くの市民が参加して踊りの輪を広げ、ゆく夏のひと時を楽しみました。

大会では、商工会女性部が先導し、市内の団体・企業が揃いの浴衣や半てんを身に付け、鷹巣盆歌のテンポに合わせて優雅な踊りを披露。子どもたちや帰省客も加わって輪を広げ、盆踊りを楽しみました。

最後に、子どもに人気の「クワガタ大抽選会」が行われ、大人から子どもまで夏の夜を満喫しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



記念催物 バター餅の美味しさを再確認

「北あきたバター餅の日」記念イベント

日本バター餅協会(村井松悦会長)主催の「北あきたバター餅の日」記念イベントが、7月23日に市民ふれあいプラザで開かれました。

今年で6回目となる記念イベントは、バター餅の普及、PR活動を通じてまちおこしにつなげようと平成24年7月23日を「北あきたバター餅の日」と制定して以来、毎年同日に開催しています。

この日、保育園児によるバターもち体操や、秋田北鷹高校家庭クラブの生徒による創作菓子が振る舞われ、来場者は楽しいひと時を過ごしました。



協定締結 無人航空機を活用した支援活動

東光ホールディングスと災害協定を締結

株式会社東光ホールディングス（^{さきお}虻川東雄代表取締役社長）と北秋田市との「災害時等における無人航空機を活用した支援活動等に関する協定」の締結式が、7月25日に市役所で行われました。

この協定は、北秋田市内で自然災害や大規模事故等緊急の事態が発生した場合に、無人航空機（ドローン）を活用した情報収集や防災拠点への物資搬入などの支援活動等の実施を目的としています。

締結後、津谷市長は「協定による支援活動を、安全安心なまちづくりに生かしたい」などと述べました。



地域行事 幻想的な夏の夜に浸る

第47回合川まと火、第38回合川ふるさとまつり

第47回合川まと火、第38回合川ふるさとまつりが、8月14日に合川橋付近と合川市民健康広場を会場に開催され、市民や帰省客が「まと火」や「合川通り踊り」などでゆく夏の夜を楽しみました。

合川ふるさとまつりでは、呼太鼓や地元住民による合川通り踊り、福田獅子舞などが披露されました。

合川まと火では、水まと火、車まと火、仕掛けまと火が次々に灯されました。また、まと火の対岸の河川敷では合川太鼓が勇壮な太鼓の音色を響かせ、来場者は幻想的な雰囲気になりました。



地域行事 山河に響く大輪の花で観客を魅了

第56回阿仁の花火と灯笼流し

第56回阿仁の花火と灯笼流しが、8月16日に阿仁河川公園で行われ、多くの市民や帰省客が、灯笼の灯りと夏の夜空を彩る花火を楽しみました。

花火大会に先立ち、風張太鼓、阿仁からめ節、ニューソーラン、よっちょれ、ダンスなどが披露され、詰めかけた大勢の観客が、大きな拍手を送りました。

続いて行われた灯笼流しでは、前日からの大雨の影響が心配されましたが、阿仁川の川面に影を映しながら流れる灯笼を見守りました。

最後に、割物や、大スターメインなどの色鮮やかな花火が次々と夜空に打ち上げられ、観客は川面に輝き、山河にこだまする大輪の花火を堪能しました。

